

共通専門基礎科目	体のしくみと医療					
看護学科	必修	2単位	講義	平成30年度	前期	2年次
臨床検査学科	選択					
科目名	薬理学Ⅱ（各論） PharmacologyⅡ（Specifics）					
担当教員	上田陸明					
目的	薬理学Ⅱでは、主な疾患に対する薬物療法において、どのような医薬品が用いられるのかを学ぶ。また、安全に使用するためにはどのような注意が必要かを学ぶ。					
目標	主な疾患に対する薬物治療の基本を理解できる。 これら疾患に用いられる医薬品の作用機序・副作用の初期症状等について理解できる。					
他科目との関連	薬理学Ⅰ、生化学、体のしくみと疾病の成り立ち、感染とその制御					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[3] 薬理学（第13版）（医学書院）					
参考資料	ナーシング・グラフィカ4 疾病の成り立ち—臨床薬理学（メディカ出版）					
備考 （受講上注意、事前学習等）	教科書をよく読んで復習する。全15回の講義の中で、習熟度を確認するためのミニテストを数回実施する予定である。					